



ネットワークの運用とセキュリティ管理の研究



工学部 情報通信工学科 / 情報ネットワーク
角田 裕 TSUNODA Hiroshi
准教授、博士 (情報科学)

1. 研究内容

我々の生活の基盤を支えるネットワークは、その安全性や信頼性の向上が常に求められている。しかし、ネットワークが複雑化するにつれて、その管理も複雑化し、不正アクセスなどのセキュリティ上の脅威も増加している。今後到来する Internet of Things (IoT) 時代において、管理とセキュリティはさらに重要性を増すといえる。

本研究室では、ネットワークを流れるトラフィックデータの分析、ログを収集するロギングシステムの監視・管理 (図1、図2) など、ネットワークの運用とセキュリティ管理に関わる研究を推進している。

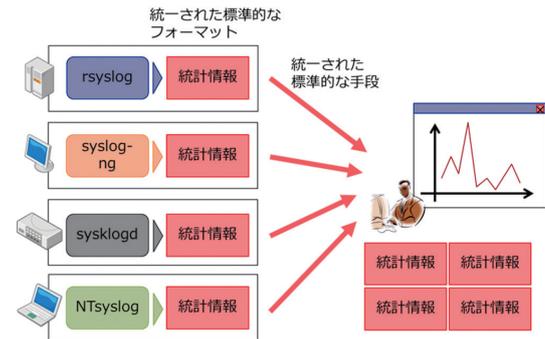


図1 ロギングシステムの監視に関する研究

2. 地域・産学連携の可能性

本研究室では、一般のネットワークのトラフィックデータに加えて、インターネット定点観測システムやダークネット観測システムのトラフィックの調査も行っている。これらの研究から得られた知見はプロトコル分析や、通信性能の評価などにも活用可能である。

また、ネットワークセキュリティに関する教育・啓蒙活動などについてもご要望があれば協力したい。

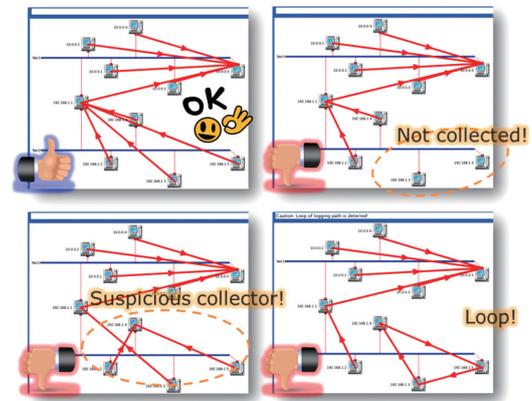


図2 ロギングシステムの構成管理と異常検知システムのプロトタイプ

執筆論文

"Feasibility of societal model for securing Internet of Things," in Proc. of 13th International Wireless Communications and Mobile Computing Conference (IWCMC2017), pp. 541-546, June 2017.



情報ネットワーク、セキュリティ、運用管理